



苑だより

綜成苑・綜愛苑・つつじが丘苑・T-JOB 苑だより

(つつじが丘苑利用者)

平成27年10月号

統合版第55号



つわぶき会カレンダー
27年10月から

http://www.tuwabuki.jp/01_02_tayori_osei.html

空は深く澄み渡り、さわやかな季節となりましたが、皆さま方におかれましては、健やかにお過ごしことと存じます。あちらこちらの田んぼの稲穂は黄色く色づいて稲刈りも始まり、まもなく山々の紅葉も美しく色づき始めます。これから秋も深まり冷え込んで参りますので、皆さま方には、体調を崩すことのないようによろしくご自愛のほどをお願い申し上げます。

職員の新規採用がありましたのでお知らせします。

船岡 泰三

綜愛苑更生部生活支援班生活支援員（パート）

9月1日採用

10月の行事予定

- ☆ 5日(月) 和歌山YMCA 学生の実習受け入れ(綜愛苑)
- ☆ 7日(水) 通所利用者健康診断(綜成苑)
- ☆7~8日 磯ノ浦清掃施設外就労参加(つつじが丘苑)
- ☆14日(水) 入所利用者健康診断(綜成苑)
ナイスハートふれあいのスポーツ広場和歌山大会(綜成苑・綜愛苑)
- ☆16日(金) 指導監査(綜愛苑)
- ☆20日(火) 指導監査(綜成苑)
- ☆24日(土) 紀の国わかやま大会 開会式(ピュアハートメンバー・つつじが丘苑)
- ☆26日(月) 紀の国わかやま大会 閉会式(つつじが丘苑)
- ☆27日(火) 避難訓練(綜成苑・綜愛苑)
- ☆28日(水) 利用者健康診断(綜愛苑)



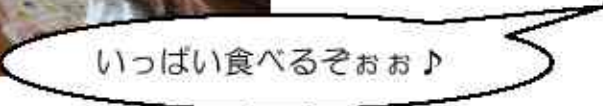
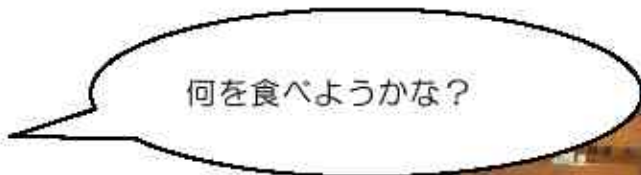
前月の主なできごと

- ☆ 3日(木) 利用者胸部レントゲン(綜成苑・綜愛苑・つつじが丘苑)
- ☆14~30日 信愛女子短期大学生の実習受け入れ(綜愛苑)
- ☆19日(土) 第27回三つわ祭り(つわぶき授産工場)

支援員室だより

【 綜成苑 更生部 】

9月3日木曜日に地域交流として「びっくりドンキー」にて外食し、その後「和歌山城」へ行く予定でしたが、大雨の為に急遽「泉南～岩出ルート」の長距離ドライブに変更になりましたが、皆さんたくさん食べ、ドライブも楽しんでくれました。





(綜成苑更生部支援員 谷 幹江・山瀬 裕一)

【 綜愛苑 更生部 】



8月21・22日に和歌山
県親子の集いで勝浦へ行っ
てきました！

二日共に天候に恵まれ、
談笑したり、温泉に入ったり
皆様楽しそうな様子でした。



8月30日にピュアハートが紀の国和歌山大会オープニングのリハーサルに行きました。当日は小雨となりましたが、皆日々の練習の成果を発揮出来たかと思えます。



(綜愛苑 更生部支援員 船所 朗文)

【 きらめき 】

きらめきでは、壁に飾れる大きなサイズで季節に合った作品を毎月作成しています。細かく根気のいる作業を得意とするメンバーを中心にどんな色がいいかな?など考えを巡らせ進めていきます。



その作品の数々が9月25日～10月5日の間、市役所に展示されます。一般の方に見てもらえる機会はなかなか少ないのでこれを励みに今後の創作活動もがんばっていきたいと思います。



(綜愛苑 更生部支援員 江頭 圭子)

【 綜成苑 授産部 】

8月の第4土曜日は、授産部全体で調理実習(パフェ)を行いました。

調理を行っている時の利用者の皆さんの表情は、作業時とは違って、楽しそうにしておりました。

エプロン・頭巾の姿も似合っていました。

包丁でフルーツを切ったり、缶切りを使用して缶詰を開けたりと楽しそうにしていました。



調理作業の不得意な利用者もいましたが、支援員の言葉掛けに応じて、一生懸命に取り組みました。

刻まれたフルーツを各自でアイスの上にトッピングを行い、自分の分は自分で盛り付けていました。

お昼前にも関わらず、みなさん美味しそうに食べていました。



9月上旬に花を、プランターに土をいれ、穴を開け植え替えました。

(バラ・デージー)

顔に土をつけてスコップを手にニコニコ顔でした。
大きく育つように願いたっぷりのお水を上げました。



まだまだ利用者さんに教わりながら日々勉強ですが、一緒に成長して、笑顔で過ごせる日をたくさん作っていただけると幸いです。



(綜成苑 授産部支援員 木村 美由紀)

【 つつじが丘苑 】

施設外就労！！



年に3～4回、和歌山市つつじが丘テニスコートの法面の除草作業を行っています。今回は季節がら、草の量が半端なく多く、大変でしたが、皆で頑張ってお作業に取り組みました。



市駅祭りに参加しました(˘)/



毎年恒例の「市駅祭り」に就労移行メンバーにお手伝いをして買い、参加しました。

予定数の300本を無事に完売しました！！

(つつじが丘苑 生活支援員 宇都宮 綾子)

【 T-JOB 】

○法人内実習の実施及び就職活動支援セミナーに参加しました

T-JOB の就労移行支援サービスを利用されている利用者さんにおいて、原則利用期間 2 年間の内初期の段階では法人内での実習を通じて、主に現在の利用者さんの作業能力や社会性について、自己評価、実習先事業所の担当者評価、T-JOB 担当者評価を実施しその内容を利用者本人、保護者、T-JOB と共有しながら、現状の把握と今後の支援内容について検討し、利用者さんの「働く」ことの具体的なイメージ作りに努力しています。実習で出てきた課題について日頃の支援に組み込みながら将来の就労について一緒に考えています。また社会性や生活面においても日頃のプログラを通じて支援を実施しております。



9月9日(水)和歌山ビッグ愛にて和歌山県経営者協会主催の「障がい者のための就職活動支援セミナー」に利用者さん2名が参加されました。T-JOB では利用者さんの状況や思いに応じて外部のセミナーにも積極的に参加しております。



○保護者向けプログラムを実施しております。

T-JOB では2ヶ月に1~2回の頻度で保護者向けのプログラムを実施しております。T-JOB の保護者プログラムでは、「情報の共有(日頃の利用者さんについて、制度面、知識面など)、家庭で利用者さんとの共通の時間の過ごし方について参考になるもの、保護者さんのリフレッシュ」を主に目的としてワークショップのような形で実施しております。2月のT-JOB 開所以来、「アロマ石鹸作り」「苔玉作り」「将来の就労についての制度面の説明」「グループホーム及び事業所見学」「個別

面談」を実施しております。プログラム中簡単なゲームをしたり、利用者さんも一緒に参加したり、時には真面目な話をしたりしながら家族支援にも力を入れています。

(T-JOB 副主任 石関 良充)

つわぶき相談支援事業所から

今回は箱庭療法について紹介をしたいと思います。

《箱庭療法とは》

縦57cm、横72cm、高さ7cmの内側を水色に塗られた木の箱の中に、気に入ったいろいろな人形や玩具を並べ、言葉に表現しにくい、うまく表現できない自分の内面の世界を箱庭の中に自由に表現し、その世界を語ることにより、自分自身の新たな気づきをもたらしてくれる心理療法です。

心に悩みを抱えている方はもちろん、それほどはっきりした悩みがなくても「何かもやもやしたものを感ずる」「なんとなくいきづまった感じがする」「自分て何だろう」・・・そんなほんやりとした想いをお持ちの方には最適な療法です。

《箱庭の歴史と背景》

- ・1929年 英国のマーガレット・ローエンフェルト女史によって考案
- ・1934年 アメリカのシャーロット・ビューラー女史によって規格化されて診断的に用いる
- ・1961年 スイスのドーラ・M・カルフ女史がユング心理学を導入して新しい解釈をくだし「砂遊び療法」を確立
- ・1966年 日本の心理療法の第一人者であり、ユング派の心理療法家でもある河合隼雄さんが日本に持ち込み、「箱庭療法」として日本独自に命名
- ・1987年 箱庭療法学会設立

《箱庭療法グッズ》



砂に触れてみてください

幼いころの砂遊び感覚で思うまま並べて下さい



興味のある方は一度体験して下さい



新しい自分の発見

(つわぶき相談支援事業所 相談員 橋本裕美)